

③	②	①
イ	やなぎの はっぱの ような 形	イ
エ		

「かいせつ」

(1) すべって 手で つかむのが むずかしい
ようすを あらわす ことばが 入ります。

(2) と (3) は 文しょうの つぎの 場しよ
に 書かれて います。

おもに 夜に うごいて、小さな 魚や エビ、
カニ、カエル、⁽³⁾ 水の中⁽²⁾に すむ 虫などを
つかまえて 食べます。 生まれた ばかりの

うなぎの 子どもは やなぎの はっぱのよう⁽³⁾な
形を しています。 半年⁽²⁾くらい たつと、親の
うなぎと 同じような 形に なります。 うなぎ
の 子どもは 海で なみに ながされながら
大きく なります。

④	③	②	①
イ	きんるい	ア	きのこを 食べる 国

「かいせつ」

(1)と(3)と(4)は文しょうのつぎの場^ばしよに書かれてあります。

(1) 日本はせかいの中でもきのこをたくさん食べる国です。きのこは切りかぶやかれ木の上に生えています。きのこは じめじめ していてうすぐらいところが大きいです。

きのこは ⁽³⁾しよくぶつにみえますが、そうではありません。カビと ⁽³⁾同じなかまできんるいとよばれる生きものです。だから、⁽⁴⁾しよくぶつのように太ようの光から自分でえいようを作ることができません。

(2) うすぐらくてあまり太ようの ^あ当たらないところをあらわすことばが入ります。



③	②	①
ア	やなぎの はっぱの ような 形	ア
エ		

「かいせつ」

(1) すべて 手で つかむのが むずかしい
ようすを あらわす ことばが 入ります。

(2) と (3) は 文しょうの つぎの 場ばし
に 書かれて います。

おもに 夜に うごいて、小さな 魚や エビ、
カニ、カエル、水(3)の 中(2)に すむ 虫などを
つかまえて 食べます。 生まれた ばかりの

うなぎの 子どもは やなぎの はっぱのような
形(3)を しています。 半年(2)くらい たつと、親の
うなぎと 同じような 形に なります。 うなぎ
の 子どもは 海で なみに ながされながら
大きく なります。



④	③	②	①
ア	カビ	ウ	きのこを 食べる 国

「かいせつ」

(1)と(3)と(4)は文しょうのつぎの場^ばしよに書かれてあります。

(1) 日本はせかいの中でもきのこをたくさん食べる国です。きのこは切りかぶやかれ木の上に生えています。きのこは^③じめじめしていてうすぐらいところが大きいです。

きのこはしよくぶつにみえますが、そうではありません。^③カビと同じなかまできんるいとよばれる生きものです。だから、^④しよくぶつのように太ようの光から自分でえいようを作ることができません。

(2) うすぐらくてあまり太ようの^あ当たらないところをあらわすことばが入ります。



③	②	①
おかあさん	ウ	母の 日に おかあさんへ 花たばを プレゼント するため

「かいせつ」

(1)と(2)は 文しょうの つぎの 場しよ
に 書かれて います。

今日、わたしは おとうさんと 花やさんへ
行きました。母の 日に おかあさんへ 花た

ばを プレゼントするためです。花やさんには
色とりどりの 花が ありました。わたしは まっ
赤な カーネーションを えらびました。おとう
さんは まっ赤な ばらを えらびました。

②
「花たばを とつぜん わたして おかあさんを
びっくりさせよう。」

わたしは おとうさんと そう やくそくしました。

(3) わたしが 花たばを わたそうと 思っおもて
いた 人が 入ります。



③	②	①
おとうさん	ア	父の 日に ネクタイを プレゼント するた め おとうさんへ

「かいせつ」

(1)と(2)は 文しょうの つぎの 場しよ
に 書かれて います。

① 今日、わたしは おかあさんと デパートへ
行きました。父の 日に おとうさんへ ネクタ
イを プレゼントするためです。デパートには
いろいろな 色の ネクタイが ありました。わ
たしは 青い ネクタイを えらびました。おか
あさんは みどりの ネクタイを えらびました。
② 「ネクタイを とつぜん わたして おとうさん
を びっくりさせよう。」

わたしは おかあさんと そう やくそくしました。
(3) わたしが ネクタイを わたそうと 思っ
て いた 人が 入ります。